

# 郷土史貢献夫婦で受賞

長年の郷土史研究で地域に貢献したとして、相模原市南区の郷土史家浦田<sup>わた</sup>佑<sup>ゆう</sup>さん(90)と妻久子<sup>くこ</sup>さん(84)が、本年度の相模原市民文化表彰を受けた。夫婦での受賞は初めて。2人は「一緒に受賞できて光栄」と声をそろえる。

(曾田晋太郎)



市民文化表彰の受賞を喜ぶ浦田佑さんと久子さん  
相模原市南区で

### 相模原市民文化表彰

佑さんは県立高で国語の教諭を務め、退職後は東京成徳短大の講師として文学や歴史を教えた。幼少期から文学好きで、作品の要点や作家の人物像を趣味でよくまとめたという。

二十代になると、研究範囲を郷土史に広げ、仕事の傍ら遺跡や神社、偉人などを調べた。「歴史を通じ、戦争を二度と繰り返さない平和意識を

浦田佑さん、久子さん

## 集大成の事典 今年出版

高めてほしい」との思いも強い。郷土と旧日本軍、在日米軍の関係をひもといた本を含め、成果をまとめた著書は約四十冊に上る。

久子さんは、同市立小の教諭や市史編さん審議会の委員を務めた。歴史に興味を持ったのは、一九五八年の結婚後。佑さんの地域史取材に同行し、知識を深めていく。市指定無形民俗文化財「相模の大風揚げ」の由来やたこの作り方などをまとめた著書もある。

院」を設立した三樹一平(1859~1924年)の生涯や交友関係などを119点の写真とパネルで紹介。6日午後1時から佑さんが解説する。入場無料。24日と28日~来月3日は休館。問い合わせは公民館=電046(256)3700=へ。

明治書院の三樹一平佑さん監修で企画展  
来月10日まで、市内で

相模原市南区の相武台公民館で来月10日まで、佑さん監修の企画展が開かれている。旧津久井郡三ヶ木村出身で、出版社「明治書

二人は今年、郷土史研究の集大成として、古代・近代の市の地誌や史跡、偉人など約二千項目を解説した「相模原事典」を著した。

佑さんは、座間市や海老名市の事典をまとめることにも意欲を燃やす。久子さんは「これからも夫に寄り添い力になりたい」と、瞳を輝かせた。

相模原事典は  
日相出版で  
担当させていただきました。



NISSO  
Publishing

